

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	補助金等審議会事業			会計	款	項	目	大	小
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		主管課	財政調整課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	安井 彰				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市の補助金	意図	市が交付する補助金の適正化を図る
事業内容	市が新規に交付する補助金やすでに交付している補助金について、審議員から意見を求めて補助金の適正化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年8月30日に設置 平成24年度の諮問件数23件、うち予算化の見送り及び廃止2件となった。 補助金件数は、平成15年度の155件から126件となっている。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		適正判断された補助金割合	88.20	91.30	100	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・補助金の公平性及び透明性を確保している。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,314,400	1,971,600	1,780,600			
事業費（b）（円）		799,200	316,800	273,600			
うち一般財源		799,200	316,800	273,600			
職員給与費(c)(円)		1,515,200	1,654,800	1,507,000			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.20	0.10			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	新規及び増額の補助金の審議を行う。	取り組みの課題	これまで厳選してきた補助金事業であるため、総額を減らすことが難しくなっている。
今年度(H25)に実施した取り組み	新規、増額の補助金等13件について審議を行い、平成25年12月25日に答申書が提出された。	今後の改善計画	平成26年度は、全件審査を実施する。